

法然上人行狀絵図

その説法の大底は大師釈尊なを衆生に  
同じ給ときはつねに病悩をうけ瘡治を  
もちゐたまふいはんや凡夫血肉の身い  
かでかその愁なからんしかれども浅智  
愚鈍の衆生はこのことはいりをしらずさ  
だめて疑心をなさんか上人の化尊すで  
に仏意にかなふゆへにまのあたり往生  
をとぐるものぞのかずをしらずしかれ  
ば諸仏菩薩諸天竜神いかでか衆生の不  
信をなげかざらん四天大王仏法をまほ  
り給はゞかならずわが大師上人の病悩  
をいやし給へとねんごろに申のべ給け  
れば善尊の御影の御前に異香しきりに  
薫じ上人も聖覚もとらに虐病おちにけ  
り

元祖大師法然上人開宗八百五十年

上酬慈恩

為

令和 年 月 日

浄写